デジタル田園都市国家構想推進関連施策資料

施策名：スマート農業の実装を促進するための農業農村整備

農林水産省農村振興局設計課
03-6744-2201　nousin_sekkeika@maff.go.jp

施策分類	①予算	４つの視点に基づく分類	③地方の課題を解決するためのデジタル実装	予算額	農業農村整備事業関係予算 令和4年度予算額　446,847百万円の内数 （うち、デジタル庁計上分1,519百万円） 令和3年度補正 82,000百万円

施策効果の詳細

✓ スマート農業の実装を促進するため、自動走行に適した農地の大区画化等の整備やICTを活用した水管理の整備を推進。
✓ 農業農村インフラの管理の省力化・高度化、地域活性化及びスマート農業の実装のための情報通信環境の整備を推進。
【基盤整備着手地区において　、スマート農業の実装を可能とする基盤整備を行う地区の割合：約８割以上（Ｒ７年度まで）】

目的

- 農業者の高齢化・減少、耕作者の経営規模拡大に伴う農作業の長期化・水需要の変化、技術革新が実用段階に入ったこと等、農業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、自動走行農機やICT水管理等のスマート農業の実装を可能にするため、農業農村整備を推進。

概要

・自動走行に適した農地の大区画化等の基盤整備やRTK-GNSS（衛星測位システム）基地局の設置やICT水管理施設の整備を実施・支援
・ICTを活用した農業農村整備で取得した座標データから、自動走行農機やドローンの自動運転用の地図を作成し活用する手法を整備。
・農業農村インフラの管理の省力化・高度化に必要な光ファイバ、無線基地局及びこれと併せて地域活性化やスマート農業に有効利用するための附帯設備の整備を支援。

詳細

＜対象事業のイメージ＞

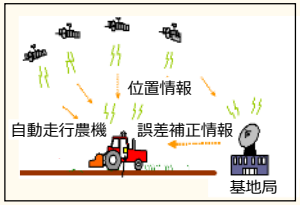
自動走行農機等の導入・利用に対応した農地整備

○自動走行農機の効率的な作業に適した農地整備

農機の旋回を容易にし、作業効率が向上するターン農道の設置。

営農作業上の障害を除去する用排水路の管路化。

○RTK-GNSS※基地局等の情報インフラの整備



衛星測位データを基地局で補正することにより、高精度の自動走行を実現。

自動走行トラクターの無人運転の状況。

※　RTK-GNSSとは、高精度（数センチ単位）で測位可能な衛星測位システムのこと。

農業・農村における情報通信環境の整備の推進

農業農村インフラの管理の省力化・高度化

集落排水施設の監視

農道橋の監視

排水機場の監視・制御

分水ゲートの監視・制御

地域活性化・スマート農業

地域活性化

活性化施設の公衆無線LAN

農業体験等での活用

スマート農業

自動走行農機での活用

鳥獣罠センサー

※無線基地局は地域の実状を踏まえて適切な通信規格（LPWA、BWA、Wi-Fi等）を選定。

＜資金の流れ＞

国 → 都道府県（定額、1/2等）
国 → 都道府県（定額、1/2等） → 市町村等（定額、1/2等）

※ 事業の一部は、直轄で実施（国費率2/3等）

＜中長期的取組＞

2022年度	2023年度～2024年度	2025年度以降

スマート農業の実装を促進するため、自動走行に適した農地の大区画化等の整備やICTを活用した水管理の整備を推進

ICTを活用した座標データから、自動走行農機等に活用する手法を整備

農村周辺での通信環境整備のため、農林水産省の関連事業と総務省の関連事業を効果的に活用